

地球物理学教室と大学の近況

平原 和朗

京都大学大学院理学研究科
地球惑星科学専攻 地球物理学教室

組織

理学部(理学科)

地球惑星科学専攻(専攻長、副専攻長、隔年持回り)

地球物理学分野(副専攻長:教室主任)

固体地球物理学講座

測地学研究室

地震学研究室

活構造学研究室

水圏地球物理学講座

海洋物理学研究室

大気圏物理学講座

気象学研究室

物理気候学研究室

太陽惑星系電磁気学講座

地球電磁気学研究室

地質鉱物学分野(専攻長)

地球熱学研究施設、世界地磁気資料解析センター

専攻運営委員会

大学院理学研究科

地球惑星科学専攻

地球物理学分野(専攻主任)(11分科)

固体地球物理学関係の6分科

測地学及び地殻変動論、地震学及び地球内部物理学、火山物理学、
地殻物理学及び活構造論、環境地圏科学、地球熱学

水圏及び気圏物理学関係の3分科

海洋物理学、陸水物理学、気象学・気候学及び大気物理学

地球惑星電磁気学関係の2分科

太陽惑星系電磁気学、地球内部電磁気学

地球科学輻合部

協力講座：防災研究所、生存圏研究所、他

地質学鉱物学分野(専攻主任)(4分科)

地球テクトニクス、地球物質科学、地球生物圏史、宇宙地球化学

関連施設と教員一覧

理学研究科附属

地磁気世界資料解析センター (4)

教授 家森俊彦 准教授 藤 浩明 助教 竹田雅彦 助教 能勢正仁

地球熱学研究施設 (10)

京都: 教授 鍵山恒臣 助教 川本竜彦

別府: 教授 竹村恵二 教授 大沢信二 助教 柴田知之

准教授

阿蘇: 教授 大倉敬宏(H25.4.1昇任) 准教授 古川善紹 助教 宇津木充
助教 横尾亮彦

防災研究所(協力講座) (42)

(今年度の移動分)

准教授 西村卓也(地震予知研究センター 国土地理院からH25.4.1 着任)

准教授 伊藤善宏(地震予知研究センター 東北大学からH25.9.1着任)

助教 土井一生(斜面災害研究センター 立命館大学からH25.7.1着任)

准教授 福岡 浩(斜面災害研究センター)(H26.4.1新潟大学へ)

助教 福島 洋(地震予知研究センター)(H26.2.3東北大学研究推進本部URAセンターへ)

生存圏研究所(協力講座) (4)

今年度の移動はなし

教室・専攻の主な行事・出来事

平成25年

5月25日 大学院修士課程入試説明会(東京)

6月7日 ウェゲナー祭

6月8日 大学院修士課程入試説明会(京都)

6月21日 観葉会の開催

8月5-6日 大学院修士課程入学試験

(定員33,出願45,受験42,合格37)

8月8日 オープンキャンパス(全学)

11月1日 全学ホームカミングデー

11月16日 地物同窓会役員幹事会

平成26年

1月20-21日 博士論文公聴会 (5件)

2月3-4日 修士論文発表会 (25件)

修士論文賞 (佐藤・中野・山田)

<http://www.eps.sci.kyoto-u.ac.jp/education/info140225.html>

3月15日 地球物理教室同窓会

H26年度予定

4月29日 JpGU横浜会場

6月 7日 京都会場

平成25年度 地球惑星科学専攻修士論文賞 受賞者

佐藤 佳世子

2011年東北地方太平洋沖地震本震及び最大余震における大阪堆積盆地での
長周期地震動

中野 真帆

2009年パダン地震が引き起こした崩壊性地すべりの地形・地質的特徴
—古期風化帯に載った降下軽石堆積物の風化と地形発達史から見た崩壊の発生場—

山田 圭太郎

別府湾における過去3000年間のイベント堆積物



平成25年2月25日

リーディング大学院 『京都大学グローバル生存学大学院連携プログラム』

プログラムコーディネーター： 寶 馨（防災研究所 教授）



グローバル生存学大学院連携ユニット

教育学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学研究科、工学研究科、農学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、情報学研究科、地球環境学舎

防災研究所、生存圏研究所、東南アジア研究所

巨大自然災害
(極端気象・水災害・地震・火山・津波)

突発的人為災害・事故
(巨大事故・火災・原子力)

地域環境変動・社会不安
(感染症・環境汚染劣化・高齢社会)

食料の安全保障
(自給率・人口問題・農業政策)

自然的・社会的現象のメカニズムの理解

予知・予測に基づく予防科学、復興科学の知識と知恵

人の適応(医療、心理、ライフスタイル、リハビリ)

社会の適応(経済、公共政策、地域研究など)



- 災害・事故や経済危機に的確に対処し、企業経営を安定的・持続駅に行える
●企業リーダー
- 世界を股にかけて活躍する国際的な危機管理リーダー
- 食料・資源・エネルギー・防災などの安全保障政策の決定に指導力を発揮する
●国や地域のリーダー
- 社会・安全システム科学分野のアカデミック・リーダー(一般の研究者・教育者)
- 新しい分野を開拓する起業家新ビジネス(ベンチャー)リーダー

平成24年

- 4月 第一期予科生選抜 (8研究科、37名)
- 5-7月 全体セミナー (6コマ目; 週1-2回; 使用言語:英語)
- 8-9月 本科生選抜 (8研究科、21名)
- 10月- 特待生奨励金 (修士1回生後期より 20万円/月)
自発的研究経費 (最高130万円/年)